

令和6年度事業計画

1. 事業の基本方針

各事業活動の充実及び地域ニーズの取り込みを目指し、上伊那全体の共通課題や懸案事項に積極的に取り組み、地域の産業の活性化、人材育成、人口減の抑制などに対する役割を果たしていきます。

2. 事業計画

(1) 人材育成研修事業（一部、元気づくり支援金事業申請）

当財団の基本事業として、テーマ、受講者の充実を図って行きます。また新しい講師の開拓にも力を入れていきます。

① 人材育成研修会・講演会の開催

- ア 経営改善、技術向上、品質改善、環境改善、新入社員教育、管理者教育等、また省エネ、脱炭素、DX、SDGs等の現在求められている内容をテーマに地域企業の人材のスキルアップに様々な視点から取り組みます。
- イ 地域産業界の需要が高いテーマ、中小企業や支援団体などが単独では対応しにくいテーマなどを積極的に取り上げ、開催時間、受講料などの面で参加しやすい企画を進めます。
- ウ 地域の人材である元気ビジネス応援隊（以下GBO）アドバイザーを講師として積極的に登用し、またその活動と連携して持続性のある人材育成に努めます。
- エ 来るリニア時代に備え地元中小企業へのAI・IoT導入促進と、その効果向上につながる研修を検討します。
- オ 年間30講座程度の実施を目標とします。また受講希望数の多い講座は複数回開催し集客数を高めます。（資料「令和6年度研修会予定表」）
- カ GBOアドバイザーを講師とした講座は、前年度同様、元気づくり支援金事業として申請をしています。

② 出前授業

小学生を対象に以下の出前授業を計画します。

- ア 環境、自然エネルギー、省エネ等をテーマにした環境出前授業。
- イ 学校や地域の防災をテーマにした防災出前授業。
- ウ アスパラ自動収穫機の取り組みをテーマにしたアスパラ出前授業。GBOアドバイザーや当職員が講師を務めます。

(2) 元気ビジネス応援隊事業（一部、元気づくり支援金事業申請）

活動内容の充実と支援体制の飛躍を目指し以下の取り組みを行います。特に、上伊那広域や市町村別の活動支援に尽力します。併せて、今後も地域人材の活用とともに充実した地域への貢献をしていきます。

① 中小企業支援活動

- ・従来に引き続き、中小企業の各種改善対応、伴走型支援。
- ・要望に適したアドバイザー派遣や各種補助金申請支援。
- ・上伊那全域の連携支援体制構築への取り組み。
- ・支援事例の編纂。

② 商工業者向けSDGs推進プロジェクト（伊那市委託事業）

伊那市のスマート工業部会への参画により、以下の活動を推進します。

ア 省エネの推進

- ・省エネ診断の推進と診断補助金支給代行
- ・省エネ対策支援と対策費補助金支給代行
- ・対象は伊那市の商工業者
- ・伊那市、アルプス信金、伊那商工会議所と協働体制
上伊那産業振興会／GBOのマネジメントで推進します。

イ 課題解決プロジェクト

- ・中小企業の課題発見とIoT導入による対策支援
- ・対象は伊那市の工業者
- ・DX推進のアドバイス
- ・IoT、DX、省エネ関連のセミナーや人材育成研修会の実施
- ・改善計画のアドバイスと伊那市への補助金申請支援
- ・優秀改善計画の選考
- ・上伊那産業振興会／GBOのマネジメントで推進します。

③ 飯田産業センターとのリニア開通に向けての連携

リニア開通に向けたモデル事業の一つとして、上下伊那連携による協働事業に取り組み伊那谷全体の活性化に寄与することを目指します。

- ・飯田産業センターと当財団の連携体制を構築し、出来ることから始めることの事前検討を進めてきましたが、R6は工業系企業を支援する具体的事業を開始します。
- ・当面は、双方のスキルを活かし中小企業の支援（受発注や人材育成など）による産業振興を目指し、将来的に観光など他業界にも波及させて行きます。
- ・双方3名ずつのアドバイザーが参加し、可能なことから取り組みます。
- ・R6は上下伊那間の中小企業マッチングイベントを計画します。
- ・様々なリニア関連会議や協議会、セミナーなどに参画します。
- ・関連情報の収集

④ 上伊那8市町村／各支援団体との連携

- ・上伊那各市町村の取り組みと元気ビジネス応援隊活動の連携模索
- ・支援メニュー

⑤ 研修の講師担当

- ・各アドバイザーのスキルを活かし、当財団の人材育成研修会の講師を担当
- ・企業内の人材育成研修を支援

⑥ 専用ホームページの更新、管理

⑦ 得意技シートの改訂

⑧ その他

- ・アドバイザーの募集、スキル向上
- ・アドバイザーのスキルアップ勉強

(3) 南信工科短大振興会事業（一部、元気づくり支援金事業申請）

南信工科短大及び会員企業の支援のため、各種事業、活動を実施します。

① 役員会・総会の運営

② 研修会

ほぼ前年度同様の内容で、会員、学生対象に研修や講演を行います。

- ・10講座以上を目標

- ・内容は、主として学生や技術者のモチベーション向上、南信工科短大振興会会員を初めとした企業への寄与を目指したテーマとします。

③ 子供デザインコンクール

小学生による科学、環境、省エネなどをテーマとしたイメージデザインを募集し、子供たちのアイデア、創造力向上に役立たせます。

- ・いくつかのテーマから選択しA3用紙にて自由な発想でデザインを描く。

- ・対象は近隣の小学校に募集。

- ・科学ふれあいフェアにて優秀作品を表彰し、各種チラシや冊子などにも掲載するなど活用する。

- ・応募数、300～400点を目標とする。

- ・作品を広く公表し、子供たちのモチベーション向上を図る。

④ 科学ふれあいフェア

南信工科短大の設備、技術を活用し、子供や地域の住民の皆さんにものづくりの楽しさや科学の魅力を知って頂きます。同時に、南信工科短大の存在、魅力の周知につなげます。

- ・南信工科短大キャンパス内に様々なものづくり体験や科学実験コースを設定し、子供たちに自由に参加してもらう。

- ・南信工科短大生の研究活動の紹介。

- ・子供デザインコンクールの表彰式と作品展示。

- ・南信工科短大生、教員、企業社員などによる案内や体験指導。

- ・上伊那地区内の小学生を対象。

⑤ 南信工科短大／会員企業の交流支援

南信工科短大の学生が南信工科短大振興会会員企業の取り組みを学び、地域企業への就職促進、企業での即戦力化に繋げ、次世代の技術の担い手が地域の産業の担い手として根付く支援をします。

- ・南信工科短大生がものづくり企業の現場を見学し、地域企業の技術や取り組みを実体験する。

- ・企業の課題を取り上げ、企業と南信工科短大生が共同で解決に取り組む。

- ・対象企業は南信工科短大振興会会員企業5～10社を目標とする。

⑥ 南信工科短大／高校の交流支援

南信工科短大の周知や理解促進のため、高校の教員、父兄、生徒と南信工科短大とのコミュニケーション活動を通し、進学選択肢としての南信工科短大の位置づけ向上を図る。

- ・高校別に教員を南信工科短大に招待し、設備、技術、特長を紹介する。

- ・南信工科短大の魅力、学生生活、取り組みの様子、各種イベント開催状況などを、動画や画像を用い分かりやすく紹介する。

⑦ 技術講演会／講習会

科学技術に秀でた方々の講演を通し、南信工科短大生や技術者のモチベーション向上を図る。

- ・南信工科短大生、教職員、会員企業社員などを対象とする。

⑧ その他

- ・教員への研究費支援
- ・会員企業と学生とのマッチング支援
- ・会員企業／南信工科短大の共同研究促進
- ・各種情報の発信、広報活動（入試情報、行事開催情報など）
- ・Big Advance等による外部との連携支援
- ・ホームページの更新
- ・チラシや動画の制作
- ・運営協議会へ参画
- ・振興会会員募集
- ・会費管理、会計業務

（４）露地野菜コンソーシアム運営（伊那市委託事業）

農場への導入を目指しアスパラ自動収穫機の開発を継続し、上伊那全体のアスパラ増産計画に寄与し、農場の近代化を通じた地域振興に貢献して行きます。

① 令和６年度はＪＡ菜園への試験導入を実現する。

② 前半３年（令和２年度～令和４年度）は基本設計とプロト設計・試作であったが、後半３年（令和５年度～令和７年度）はＪＡ菜園での実運用から他農場や他野菜への応用検討へ繋げる。

③ 令和６年度は主に以下の計画を実行する。

- ・改良と評価試験継続、改良機試作、コンテナステーション試作、試験農園の造成、試験農場での実験と実運用の開始など。
- ・開発体制は、南信工科短大の画像認識技術を中心に、アイシスウェア、エレシン、アドライズ、中野屋ステンレス、林電機などの地域の中小企業と、上伊那産業振興会／ＧＢＯのマネジメントで推進する。コンソーシアム参画企業の追加も検討する。
- ・スマート農業推進委員会への参画
- ・その他、農業関連イベントでのＰＲ
- ・小学生への出前授業

（５）その他交流促進事業

外部組織・団体と密に連携し、当財団の活動に活かします。

- ① 地元金融機関との連携（BigAdvanceのパートナー関係）。
- ② 伊那谷財団や郷土愛プロジェクトとの協働。
- ③ 伊那インター工業団地連絡会事務局の活動。
- ④ 世界一の会事務局の支援。
- ⑤ 当財団として、上伊那の共通課題が発生した場合は積極的に支援。
- ⑥ 上伊那地域経済牽引事業促進の協力

(6) 情報提供事業

- ① 資料・書籍・工業製品展示
- ② ダイレクトメール、ホームページによる各種情報発信

URL <http://www.ina.janis.or.jp/~keisei/>

(7) 伊那技術形成センター運営管理事業

- ① 施設貸し出し（資料：「伊那技術形成センター年度別利用状況」）

利用は増加傾向にある。また利用団体及び利用内容も多様化してきており、今後も使いやすい公共施設として利用促進に努める。

- ② 施設の修理、保守

利用者の利便性向上、また利用価値を高めるために保守・改修を進めたい。

ア 当年度の対応予定

- ・センター1階の男女トイレ一部洋式への改修
- ・誘導灯交換
- ・AED設置
- ・突発的な致命的損傷（天井雨漏りなど）

イ その他今後の課題

- ・エレベーターの設置（重量機器の搬送や障がい者の安全性向上）
- ・冷暖房設備の設置されていない交流サロン及びメカトロ研究室への設置
- ・研修室のブラインド改善
- ・研修室・会議室を始めとする館内照明のLED化
- ・駐車場の舗装整備（ひび割れによる破損が年々増加）
- ・外壁の補修（タイルが剥がれてきている）
- ・エントランス及び天井の水漏れ対策
- ・吹き抜け天井のブラインド修理（正常に動作しない。）
- ・交流サロンの水回り修理
- ・不要設備の処分（ボイラー・チラーの撤去）
- ・空間の再利用（旧研究室改修等）

以 上